

環境技術実証モデル事業展示・ワークショップ/シンポジウムについて

1. 開催の背景・目的

環境省は、平成 15 年度より「環境技術実証モデル事業」を実施しており、5 年にわたるモデル期間を経て、平成 20 年度より本格事業化を予定している。モデル事業開始から 4 年度目にあたる本年度は、本格事業化に向け、モデル期間中の成果を国内に向けて発信し、本事業の認知度向上による事業効果を高め、また、関係者間の情報交換や関係者による積極的な提案の場を設けることにより、本事業の改善や対象技術数の向上等を目指すこととする。

2. 開催の方法について

これまでのモデル事業の成果を広く一般に向けて発信し、また、本事業について環境技術関係者間での認知度を高めると同時に具体的な情報交換を行う場を提供するため、環境に関心のある一般国民や環境技術関係者が集うことが期待される「エコ・プロダクツ 2006」(東京ビッグサイト：12/14 - 16)において、モデル事業の成果等についての展示を行う。

また、特に本事業に関心の高い環境技術関係者を対象とし、具体的な事業参加の意欲を引き出すと共に、事業改善のための有効な提案を得ることを目的として、参加型のワークショップ/シンポジウムを開催する。

3. 展示会

エコ・プロダクツ展の展示会場において一定の区画を用意し、以下の展示を行う。

展示物(案)

- モデル事業全体の説明パネル
- 各技術分野毎の成果報告パネル
- 持ち込み可能な範囲内^{*}での実証済み技術の実物展示(希望・予算次第)
- 実物持ち込みが困難なもの等の模型・動画画面展示(希望・予算次第)
- 個別の技術の紹介パンフレット等

(* 電気が必要なものは容量次第で可能。排水設備が必要なものは不可)

配布物(案)

- モデル事業全体のパンフレット
- 各技術分野毎の概要報告書

4. ワークショップ/シンポジウム

エコ・プロダクツ展の一環として、セミナールーム又は展示会場の一角において、以下の内容で実施する。

基調講演（課題未定）

報告発表（課題全体についての紹介、各技術分野の実証結果の紹介、技術実証を通じたメリット、手数料体制の検討状況等から検討。）

意見交換

- ・ それぞれ関心の高い技術部門に分かれ、新たに実証すべき技術分野の提案、情報交換等を実施。

又は

- ・ 技術分野毎の専門家をパネラーとしたパネルディスカッションを実施し、聴衆からの質問、意見をうけつつ、これからの事業のあり方や新たに実証すべき技術分野の提案を実施。

5. 今後の予定

以下のスケジュールにそって、展示物、ワークショップ/シンポジウムの内容等の概要を固め、イベント実施機関を決定する。併せて、エコプロダクツ展の出典申し込み、展示・ワークショップ/シンポジウムの詳細決定（展示物、講演者の決定等）等、具体的な準備を進める。

今後のスケジュール

